（７３３５６３０）

プラグインハイブリッド車・電気自動車用
充電スタンド EVC1-IC

施工説明書

管理者及び施工業者各位

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。尚、保守・点検の際も活用しますので
施工説明書・取扱説明書は所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。

施工は必ず有資格者（電気工事士※）が行ってください。
※工事内容や規模により、この限りではありません。

もくじ

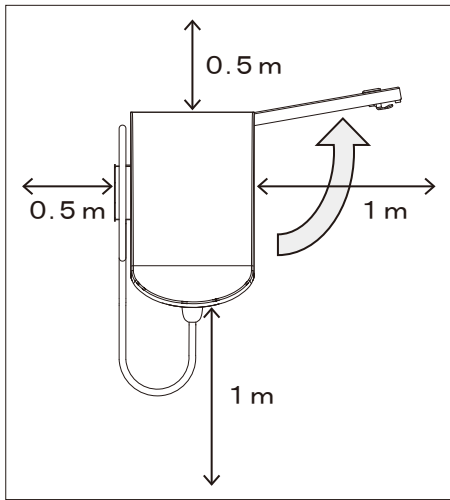
安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの施工説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この施工説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

⚠危険	回避しないと、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
⚠警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

●お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

⚠ 気をつけていただく内容です。

⊘ してはいけない内容です。

❗ 実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工及び保守・点検上のご注意

⚠危険

⊘	破損した充電コネクタ、充電ケーブルは使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。破損した場合は直ちに修理・交換してください。（「お問合せ先」（Ｐ.１２）へご連絡ください。）		感電防止のため、施工作業及び保守・点検作業に入る前に必ず給電元ブレーカをＯＦＦにして、給電用電線に電圧が無いことを確認してください。また作業が完了するまで絶対に給電しないでください。
	充電コネクタ端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。		保守・点検時に取外した端子カバー、保護カバー等は必ず元の位置に戻してください。感電や短絡による事故のおそれがあります。
	充電コネクタ端子部を水などで濡らさないでください。また濡れたまま使用しないでください。感電のおそれがあります。		

⚠警告

	充電スタンド下面と設置面との間に、電線や異物を挟まないように注意してください。		感電防止及び車両との信号授受のため、必ず接地工事（Ｄ種）をしてください。
	保護板、各種基板カバーの着脱時はケーブル、ハーネス等を挟まないように注意してください。		本製品を配線する場合、必ず給電元に漏電遮断器を設置してください。
	可燃性ガス、腐食性ガス、じんあい、引火物の近くに設置しないでください。感電、火災、故障の原因となります。		車両が通るところに設置する場合は、必ず防護柵や車止めなどを設置して、本製品への衝突や充電中に車両が動き出さないようにしてください。
	充電コネクタや充電ケーブルを踏みつける、地面に落下させるなどして損傷を与えないでください。感電や火災のおそれがあります。		線間での絶縁抵抗測定は漏電ブレーカ、操作回路などの不具合の生じるおそれのある機器（回路）を外してから、電線間で行ってください。
	弱電回路は絶縁抵抗を測定しないでください。故障の原因となります。		ブレーカの保守・点検時にはテストボタンによる動作確認をしてください。
	本製品内機を濡らすことがないように作業してください。火災のおそれがあります。		対地間の電圧測定は、本製品内のアース線を外して行ってください。
	強く引張る、ねじるなど、充電ケーブルに無理な力を加えないでください。破損し、感電や火災のおそれがあります。		導通部の接続ねじは施工説明書の締付トルクの範囲内で定期的に増締めしてください。ねじが緩んでいると発熱し、火災のおそれがあります。

⚠注意

本製品は約４５ｋｇの質量があります。施工の際は周囲の安全を確認の上、転倒等に十分ご注意ください。けがや故障の原因になります。

国外では使用しないでください。本製品は日本国内専用です。

本製品の使用環境温度範囲は－２０℃から＋４５℃(氷結なきこと）です。この温度範囲を超えるような場所には設置しないでください。

本製品に強い衝撃を与えたりしないでください。感電、火災、故障の原因となります。

本製品の上に乗ったり、もたれたりしないでください。本製品が破損し、事故につながるおそれがあります。

コンクリート基礎と基台の間はコーキング処理をしないでください。

階段、非常口などの付近で避難の支障となる場所に設置しないでください。

本製品に貼付してある銘板シール（製造年月、製造番号等の記載シール）をはがしたり、汚したりしないでください。

本製品は十分な強度のある平らな面に設置・固定してください。設置後の傾きは充電スタンド下面部で１度以内（充電スタンド下面部両端の高低差で５mm以内）としてください。強度が十分でない場合や、傾いた状態で設置した場合、本製品が転倒または落下し、故障やけがの原因になります。

安全性、操作性、保守・点検のために本製品の周囲に下図のスペースを空けて設置してください。

<本体上面図>

充電コネクタが車両に無理なく接続できる場所に、本製品を設置してください。

本製品は精密機器です。雨や直射日光が当たりにくい場所で風通しがよく、また著しい騒音や振動のない場所に設置してください。

積雪時は適宜、除雪してください。

使用を終了した製品は、万一の場合に備え、放置せずに撤去してください。

製品に傷やさびが発生した場合は、必ず防錆処理をしてください。腐食の原因となります。

動物などの排泄物が付着した場合は、クリーニングしてください。

本製品には植栽などの土がかからないようにしてください。

本製品にぶつかったり、つまずいたり、通行などの妨げにならないよう周囲の状況に十分配慮して設置してください。

部品の取付けには寸法の合った工具を使用し、規定の締付トルクを守ってください。

給電用電線を地中から充電スタンドに引込む際、可とう管等を使用し、適切に敷設してください。

可とう管等の端部は、水が浸入するおそれがあります。適切な防水処置を行ってください。

配線口は配線作業終了後、適切な防水処理を行ってください。

ケーブルは、張力のかからないように余裕を持って配線してください。

本製品のメインスイッチをＯＮにした際に動作が確認できない場合は、取扱説明書内「メインスイッチＯＮ/ＯＦＦの仕方」を参照し、メインスイッチをＯＦＦにし、給電元ブレーカもＯＦＦにしてください。配線や安全状態を確認した上で、給電元ブレーカをＯＮにし、本製品のメインスイッチをＯＮにしてください。それでも動作が確認できない場合は、「お問合せ先」（Ｐ.１２）へご連絡ください。

メンテナンスドアを閉じた後は、いたずら防止及び事故防止のため、必ず施錠してください。

配線工事は「電気設備の技術基準」及び「内線規程」に基づいて施工してください。

配線が地中埋設工事の場合、３００mm以上埋設し、必ずケーブルをご使用ください。また、重量物により圧力がかかる地中埋設工事は、ＪＩＳＣ３６５３（電力ケーブルの地中埋設の施工方法）によって施工してください。

■通信に関するご注意

⚠注意

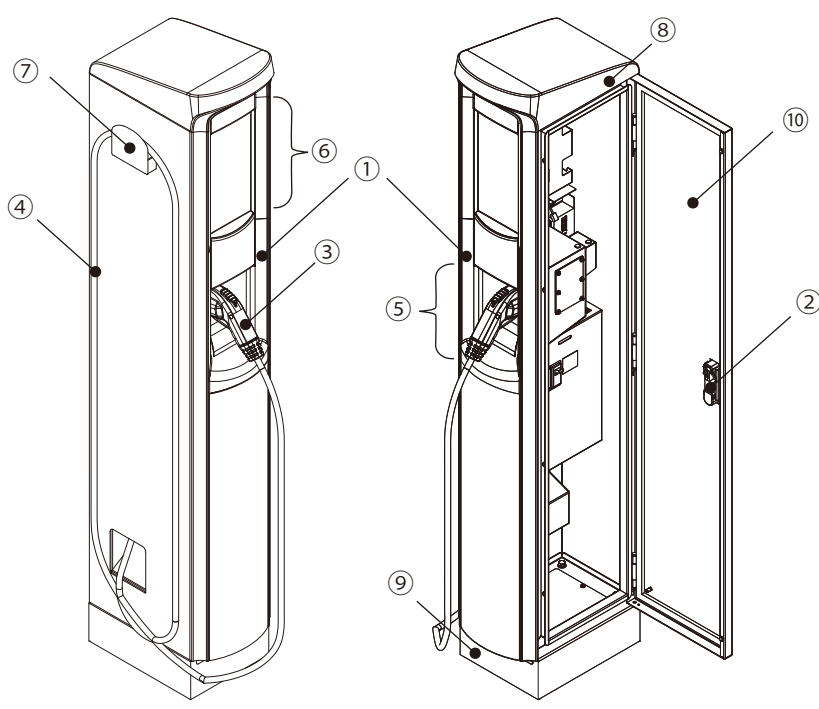
本製品は無線を利用しているため、電波の弱いところではご利用になれないことがあります。電波の状況を確認した上で設置場所を決めてください。設置時に電波の状況が良い場合でも、周囲の環境の変化（高層ビルの建設など）により電波が入らなくなることもありますのでご注意ください。

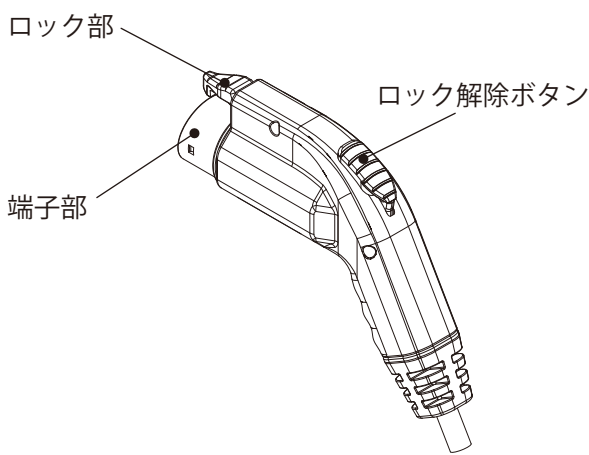
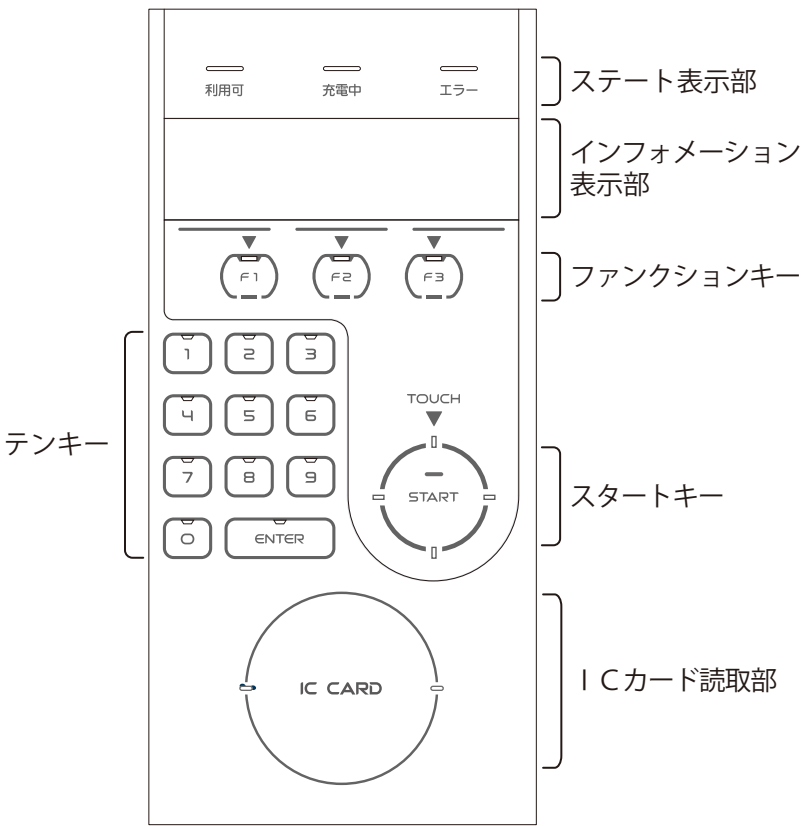
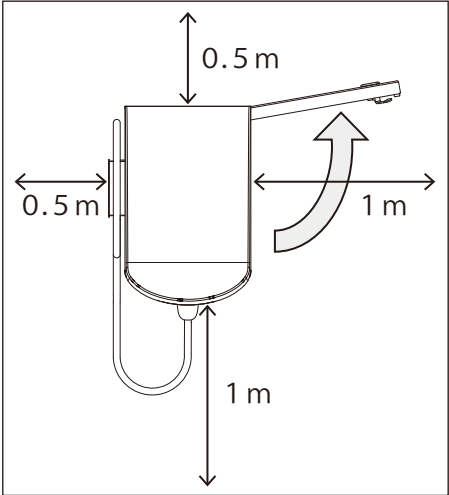
■通信機器の搭載について

⚠注意

高精度な電子機器の近くに設置しないでください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：ペースメーカ、補聴器、その他医用電気機器、火災報知器）

植込み型医療機器を装着されている方は、充電スタンドと植込み型医療機器の装着部位を２２ｃｍ以上離してご使用ください。誤動作が発生した場合に健康に悪影響が生じる可能性があります。

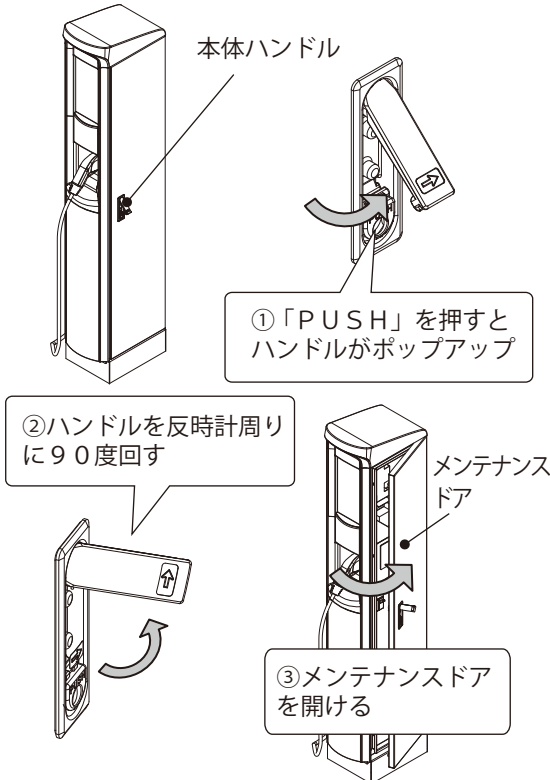
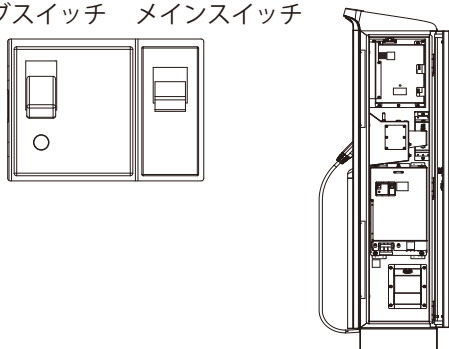
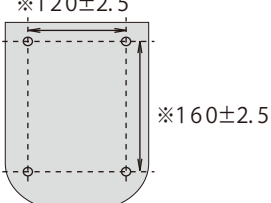
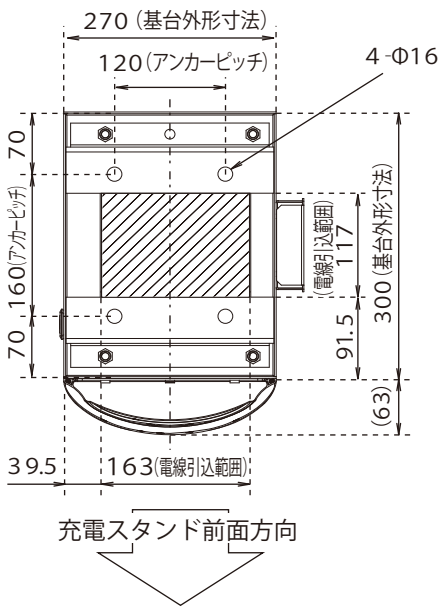
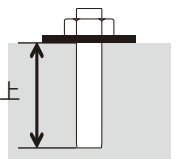
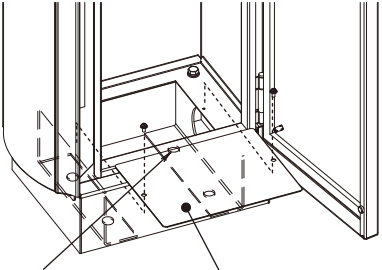
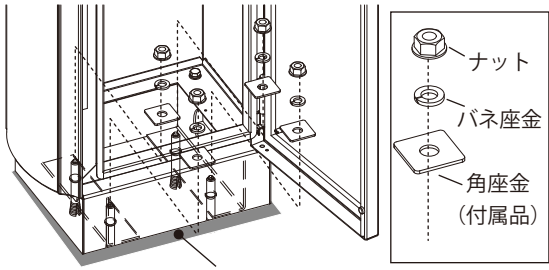
■各部の名称

名　称	
①	本体
②	本体ハンドル
③	充電コネクタ
④	充電ケーブル
⑤	コネクタ収納部
⑥	インフォメーションパネル
⑦	ケーブルフック
⑧	屋根（アンテナ）
⑨	基台
⑩	メンテナンスドア

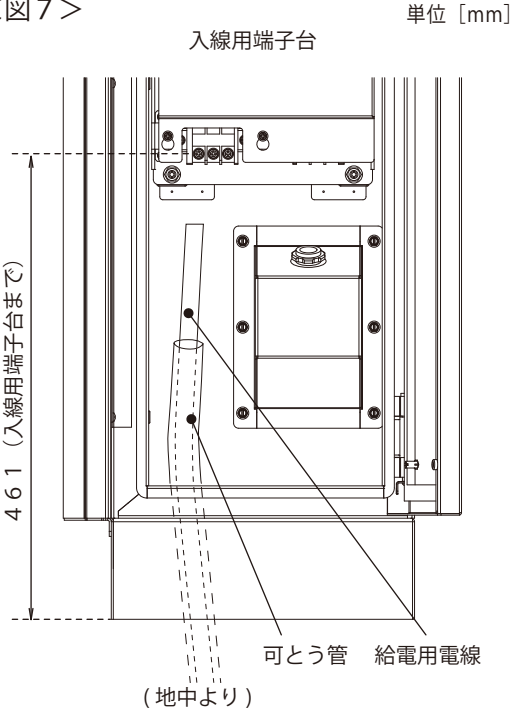
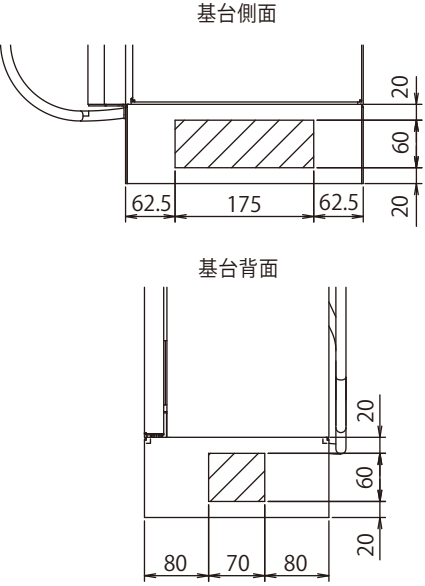
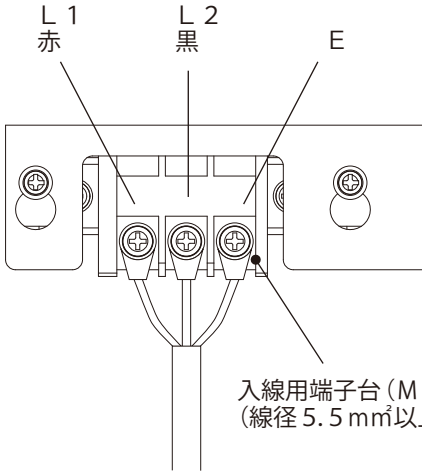
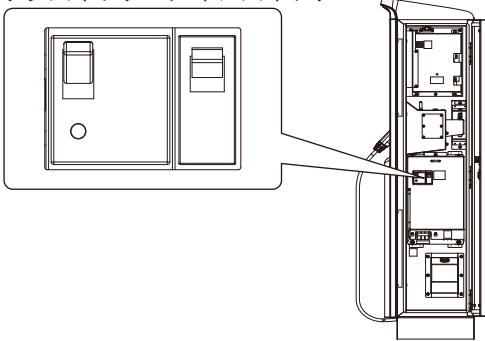
充電コネクタ

インフォメーションパネル

■付属品

名　称	数量
本体ハンドル用鍵	2
充電スタンド取扱説明書	1
充電スタンド施工説明書（本紙）	1
角座金	4
ハンドルロック	1

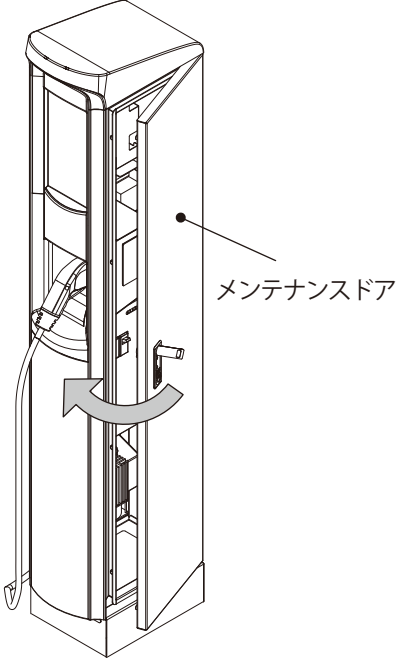
※認証用ＩＣカードをご活用の場合は別途
　ご用命ください。
　（「お問合せ先」（Ｐ.１２）参照）

■施工前確認事項

施工前に下記内容を確認してください。

<設置スペースの確認>

手順	作　業	説　明	注意事項
1	設置スペースの確認	設置時及び保守・点検時は本製品の右側扉を開いて作業を行います。 作業が行えるよう下図のスペースを確保してください。 各部の寸法は「仕様」(P.1 0)を参照してください。 0.5m 0.5m 1m 1m	⚠注意 保守・点検のために本製品の周囲にスペースをあけて設置してください。

<電波環境の確認>

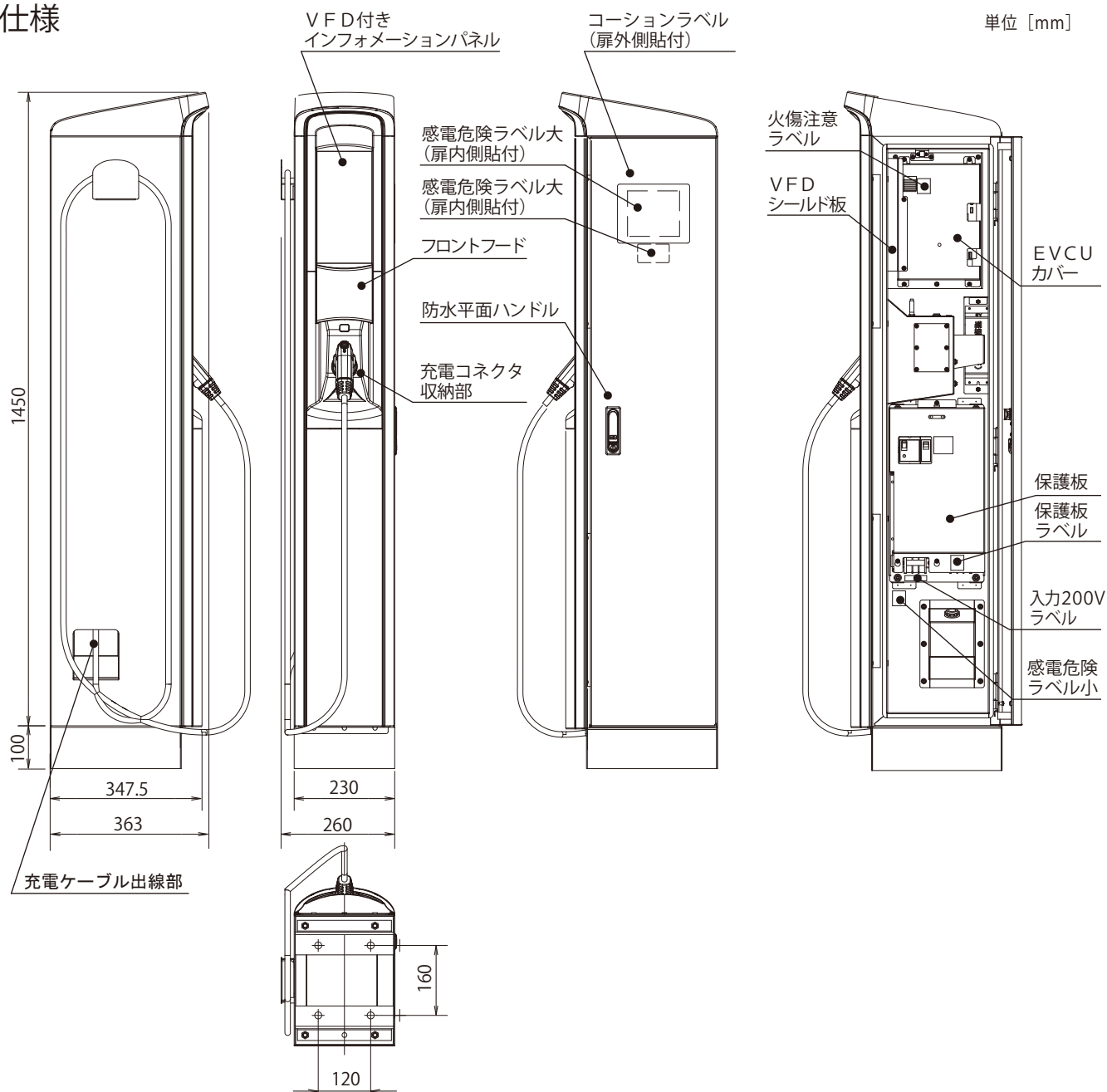
手順	作　業	説　明	注意事項
1	電波環境の確認	本製品は携帯電話通信ネットワークを利用した通信機能を搭載しております。 『電波環境の確認』の実施方法につきましては「お問合せ先」（P.１２）までご連絡ください。 ※『電波環境確認』を実施しなかった場合、電波状況によっては、充電スタンドが使用できない場合があります。	

■施工手順

施工手順を説明します。

手順	作　業	説　明	注意事項
1	充電スタンド外の確認	給電元ブレーカがＯＦＦになっていること、給電用電線に電圧が印加していないことを確認してください。	⚠危険 感電防止のため、施工作業に入る前に必ず給電元ブレーカをＯＦＦにして、給電用電線に電圧が印加していないことを確認してください。また、作業中は絶対に給電しないでください。
2	充電スタンド内の確認	・本製品右側面にある本体ハンドルに付属の鍵を差込み開錠します。「ＰＵＳＨ」部分を押すとハンドルがポップアップします。 ハンドルを反時計周りに９０度回し、ハンドルを持ってメンテナンスドアを開けてください。 (図１参照) ・給電元ブレーカ、本製品内部の左側に位置する「サブスイッチ」と同右側に位置する「メインスイッチ」がＯＦＦになっていることを確認してください。(図２参照) ＜図１＞ 本体ハンドル ①「ＰＵＳＨ」を押すとハンドルがポップアップ ②ハンドルを反時計周りに９０度回す メンテナンスドア ③メンテナンスドアを開ける ＜図２＞ サブスイッチ　メインスイッチ	

手順	作　業	説　明	注意事項
3	アンカーボルトの設置	下図の位置にボルト径M12のアンカーボルトを4ヶ所設置してください。 ＜図3＞　単位［mm］ ※120±2.5　※160±2.5 ※アンカーボルトピッチは上記の公差内で施工してください。 ＜図4＞本体下面図 270（基台外形寸法）　120（アンカーピッチ）　4-Φ16　70　160（アンカーピッチ）　70　117（電線引込範囲）　300（基台外形寸法）　91.5　（63）　39.5　163（電線引込範囲） 充電スタンド前面方向	⚠注意 本製品は十分な強度のある平らな面に設置・固定してください。設置後の傾きは充電スタンド下面部で1度以内（充電スタンド下面部両端の高低差で5mm以内）としてください。 保守・点検のために本製品の周囲にスペースを開けて設置してください。 「施工前確認事項」（P.4参照） アンカーボルトの埋込み深さは60mm以上としてください。 （一般的なスラブ床の場合） 60mm以上
4	充電スタンドの固定	本製品内部底面の「下面開口プレート」（M4ねじ×2本）を取外すと内部より基台アンカー穴位置を確認できます。 ＜図5＞ 基台アンカー穴　下面開口プレート 本製品をアンカーボルトに据付け、M12ナット、バネ座金、角座金（付属品）で固定してください。 基台中央部付近の電線引込範囲（入線位置）をご確認ください。（図4参照） ＜図6＞ ナット　バネ座金　角座金（付属品）　拡大図 **コーキング処理禁止**	⚠警告 充電スタンド下面と設置面との間に、電線や異物を挟まないように注意してください。 ⚠注意 コンクリート基礎と基台の間はコーキング処理をしないでください。 ねじ締付トルクは以下の通りとしてください。 M4ねじ：1.47～1.96N･m

手順	作　業	説　明	注意事項
5	充電スタンドに給電用電線を引込む	● 地中配線の場合 給電用電線を本製品の底面から引込み、本体の入線用端子台取付位置まで届く長さ(約０.５m)以上を引出してください。 ＜図７＞　単位［mm］ ● 露出配管からの配線の場合 基台の側面又は背面に穴をあけて配線を行う場合は、下記範囲内においてΦ２８以下の穴を１か所としてください。 給電用電線を側面又は背面配線穴から引込み、本体の入線用端子台取付位置まで届く長さ以上を引出してください。 ＜図８＞　穴あけ可能範囲 (※Φ28 以下を 1 箇所)　単位［mm］ 	**⚠注意** 地中からの配線は可とう管等を使用し、適切に埋設してください。 可とう管等の端部は、下面開口プレートを貫通させ本製品内まで引込んでください。下面開口プレートとの貫通部は水が浸入する恐れがあります。適切な防水処置を行ってください。

手順	作　業	説　明	注意事項
6	給電用電線の接続	入線用端子台のカバーを外し、 単相AC２００V用電源線及び接地線を入線用端子台に接続してください。 ＜図９＞ Ｌ１ 赤　Ｌ２ 黒　Ｅ 入線用端子台（Ｍ５） （線径５.５mm²以上を推奨）	**⚠注意** 本製品内の配線口は配線作業終了後、適切な防水処置を行ってください。 ねじ締付トルクは以下の通りとしてください。 M5給電端子：2．0～3．0N･m 本製品は単相電源での接続を推奨しています。三相電源を使用する場合は「お問合せ先」（P.１２）へご連絡ください。
7	確認	・給電用電線が正しく結線されているか、電線に無理な力が加わっていないかを確認してください。 ・アンカーボルト、端子部、コネクタ接続部のねじ、コネクタの緩みがないかを確認してください。 ・入線用端子台カバーを戻してください。	**⚠注意** 電線は張力のかからないように余裕をもって配線してください。
8	電源投入	給電元ブレーカをＯＮにしてから、本製品内のブレーカ（図１０参照）を ①サブスイッチ（左側） ②メインスイッチ（右側） の順でＯＮにしてください。システムが起動します。 ＜図１０＞ サブスイッチ　メインスイッチ システム起動には約１分かかります。 ①インフォメーションパネルＬＥＤが全点灯 ②インフォメーションパネルＬＥＤが全消灯 ③インフォメーション表示部にシステムバージョン情報表示 ④インフォメーション表示部に「利用できます 暗証番号を入力してください」と表示 利用できます 暗証番号を入力してください	**⚠注意** 左記の動作が確認できない場合は、「取扱説明書内メインスイッチON/OFFの仕方」を参照し、本製品のメインスイッチをＯＦＦにし、給電元ブレーカもＯＦＦにしてください。 配線や安全状態を確認した上で、給電元ブレーカをＯＮにし、本製品のメインスイッチをＯＮにしてください。 それでも左記の動作が確認できない場合は、「お問合せ先」（P.１２）へご連絡ください。

手順	作　業	説　明	注意事項
9	ハンドルロック取付け	サブスイッチ（左側）にハンドルロック（付属品）を取付けてください。	
10	本体施錠	メンテナンスドアを閉じ、本体ハンドルを付属の本体ハンドル用鍵で施錠してください。 ＜図１１＞ メンテナンスドア	⚠注意 いたずら防止及び事故防止のため、本体は必ず施錠してください。 メンテナンスドアを閉じる際は、本体とメンテナンスドアを押さえつけハンドルを閉めてください。また、電線がメンテナンスドアに挟まらないように注意してください。
11	設置完了	以上で設置完了です。 取扱説明書と施工説明書を施主様へお渡しください。	

■仕様

項　目		仕　様
入　　力	電　　圧	単相AC200V±10%
	電　　流	16A
	周 波 数	50/60Hz
出　　力	電　　力	3．2kW
寸　　法	高　　さ	1550mm
	幅	260mm（ケーブルフック部含む）
	奥　　行	363mm
	充電ケーブル長さ	約7m
質　　量		約45kg
環　　境	保護性能	IP55（コネクタ収納部は除く）
	設置環境	屋内及び屋外
	温　　度	－20℃～＋45℃（氷結なきこと）

＊本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明及び電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けた通信機器を内蔵してます。

MEMO

■お問合せ先

ご不明な点がありましたら、株式会社豊田自動織機 エレクトロニクス事業部 事業企画部 営業室へお問合せください。

受付時間：平日（土日・祝日を除く） 9:00～17:00

ＴＥＬ：（0562）48－9049

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
この施工説明書の内容は2011年7月現在のものです。

B200040926

株式会社 豊田自動織機

エレクトロニクス事業部　事業企画部営業室
愛知県大府市共和町茶屋８番地
TEL：（0562）48-9049
http://www.toyota-shokki.co.jp

製造元：**日東工業株式会社**

愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
http://www.nito.co.jp